



文部科学省

令和6年度 文部科学省「生活者としての外国人」
のための特定のニーズに対応した日本語教育事業



人が集まる！ 学習が続く！ 教室を作ろう

長く学習を継続するためには、
「安心して学べる環境」と
「欲求・動機を刺激すること」
が大切だと言われています。

そのためのしかけをこの講座で
一緒に考えてみませんか。

NPO法人フィリピンナガイサ(主催)
filipinonagkaisa@yahoo.co.jp



共催

浜松市

後援 (公財) 浜松市国際交流協会 (HICE)



第一期

公開講座 (3回)
生活者としての外国人を
地域日本語教室に
取り込むしかけ

第二期 (実践編)

ワークショップ (4回)
実際の教室でどのように
学習者のニーズに
こたえていけるだろう



申し込みは
こちらへ

オンライン・無料
詳細裏面

第一期公開オンライン講座 (3回)

各定員50名

9月11日 (水)

10:30 ~ 12:00

生活者としての外国人を地域日本語教室に取り込むしかけ

発表者

- ・松井由和氏
(浜松市国際課課長)
- ・松本義一
(NPO法人フィリピンナガイサ)

進行

- ・松岡洋子氏
(岩手大学教授)

9月25日 (水)

10:30 ~ 12:00

評価を変える、評価が変わる、共生の場と学びの意欲 ①

講師

- ・南浦涼介氏
(広島大学准教授)

10月09日 (水)

10:30 ~ 12:00

評価を変える、評価が変わる、共生の場と学びの意欲 ②

講師

- ・南浦涼介氏
(広島大学准教授)

第二期オンラインワークショップ (4回)

定員30名

10月29日 (火)

10:00~12:00

11月12日 (火)

10:00~12:00

11月26日 (火)

10:00~12:00

12月10日 (火)

10:00~12:00

実際の教室でどのように
に学習者のニーズにこ
たえていけるだろう

※ワークショップは、全4回出席
できる方また公開講座を受講された
方を優先いたします

講師

有田玲子氏
(東京にほんごネット代表)

昨年度 受講者の声

学び手の意欲を高められる存在
となる必要性を再認識しました。
小さなきっかけで上手く回り出すと好循環
が生まれる...そんなクラスにして行きたい
です。

フィリピンのナガイサの方々の活動が、
学習者の夢や目標の実現を支援し続けている
ことや、目的が無くても、来やすい居場所
づくりに努力している様子がよくわかって
参考になりました。

たくさんの有益な気づきがありました。
中でも「普通」を変える!ということは、
今後の活動を考えるときの基本に据えたい
と思います。

学習者の意欲だけでなく、支援者の意欲も
見つめなおす機会になりました。